

都立世田谷総合高校 令和3年度 年間授業計画

教科・科目(単位数)	地歴科・世界史A(2)
対象年次	2, 3年
使用教科書	世界史A(実教出版)
使用副教材	タペストリー(帝国書院)
科目担当	

		指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
1 学期	4 月	第1章・第2章 ユーラシア諸文明の特質と交流	ユーラシア諸地域において発展した文明の概要と、陸海の商業ネットワークが形成された歴史について、その特質を理解させる。		2
		第3章第1節 世界の一体化の第一歩	世界の一体化とヨーロッパ近代社会の成立について理解させる。		2
		第3章第2節 ルネサンスと宗教改革	ルネサンスがヨーロッパ人の思想と意識の革命だったこと、宗教改革はカトリック教会の何を批判し、どう改革しようとしたか理解させる。		2
1 学期	5 月	第3章第3節 ヨーロッパの主権国家体制	絶対主義王政の成立の要因とその構造について理解させる。		6
		定期考査1			2
1 学期	6 月	第4章第1節 アジアの繁栄	列強諸国によるアジアの植民地化の過程を理解させる。		4
		第4章第2節 世界経済体制の形成	絶対主義王政の成立の要因とその構造について理解させる		4
1 学期	7 月	定期考査2			2
		第5章第1節 産業革命と工業化社会の成立	工業化と市民革命が資本主義社会の成立の要因であったことを理解させる。		2
2 学期	9 月	第5章第2節 アメリカ独立戦争	アメリカにおける市民革命が、独立戦争の形をとったことを理解させる。		4
		第5章第3節 フランス革命とナポレオン戦争	市民革命の典型としてのフランス革命のプロセスと、市民の経済的要求が皇帝ナポレオンを生み出した要因を理解させる。		4

		指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
2 学期	1 0 月	第5章第4節 ウィーン体制とその崩壊	ヨーロッパの新たな秩序としてウィーン体制が成立したこと、ナショナリズムと自由主義の発展、ウィーン体制の矛盾が七月革命につながったこと	【観点】 関心・意欲・態度 世界史の基礎の知識・理解 【方法】 定期考査の成績と提出物や授業への取り組み等の平常点から総合的に評価する。	4
		第5章第5節 ヨーロッパ国民国家の発展	市民社会の成熟と労働者階級の成長との葛藤について理解させる。		2
		定期考査3			2
2 学期	1 1 月	第5章第6節 アジア・アフリカ・ラテンアメリカの変動	帝国主義列強の植民地経営の特質について理解させる。		4
		第5章第7節 東アジアの変容と日本の近代化	ヨーロッパ列強の進出により変容する東アジアの動向を理解させる。		4
2 学期	1 2 月	定期考査4			2
		第6章 二つの世界大戦	国際関係を把握し、二つの世界大戦の原因と展開、終結していく過程を理解させる。	4	
3 学期	1 月	第7章 第二次世界大戦後の世界と日本	第二次世界大戦後の国際関係を、各地の独立運動や米ソ冷戦の激化と終結を中心に理解させる、	4	
		第8章 現代の世界	今日の世界について、歴史的経緯を踏まえ、多面的多角的な視点から理解させる。	2	
3 学期	2 月	終章 持続可能な世界を目指して	今日の世界と世界の未来への理解を深める	6	
3 学期	3 月	定期考査5		2	
				計	70